

れいわ ねん どだい かい がいこくじん しみん かいぎ ぎじろく
令和元年度第2回 外国人市民会議 議事録

日時	れいわ ねん がつ 26 日 (日) 10:00～11:30
場所	とよはししこくさいこうりゅうきょうかい こくさいきょうりょくしみん さろん ぱる 豊橋市国際交流協会 国際協力市民サロンP a l
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 「とよはしした ぶん かきょうせいすいしんしゅにんしや せつめい 「豊橋市多文化共生推進主任者」についての説明 ● しやくしょ ぜんちようてき た ぶん かきょうせいすいしん む いけんこうかん 市役所での全庁的な多文化共生推進に向けての意見交換
参加者	がいこくじんしみんかいぎいん 10名 外国人市民会議委員：10名 た ぶん かきょうせい こくさいか こしみずかちよう ふじえほさ みわたしゆさ ひろべ きむら 多文化共生・国際課：小清水課長、藤江補佐、三輪田主査、廣邊、木村

事務局：本日の会議の目的は、「豊橋市多文化共生推進主任者」についての説明と、市役所での全庁的な多文化共生推進に向けての意見交換である。会議後は、豊橋市国際交流協会内に昨年8月30日に開所した豊橋市外国人総合相談窓口infopia(インフォピア)をぜひ皆さまに見学して頂けたらと思っている。それでは会議を始めていく。まず議題1点目の「豊橋市多文化共生推進主任者」についてだが、本年度4月から豊橋市役所の全課において「多文化共生推進主任者」を設置した。まず、設置の背景を説明させて頂く。市内の外国人人口は年々増加し、令和2年1月現在で 19,152人、人口割合は 5%に達した。このような中で市役所としては、外国人市民も日本人市民と同じように行政サービスが受けられるように体制を整えていく必要があると考えている。市役所の仕事は多岐に渡り、専門的な内容も多いため、多文化共生・国際課だけではなく、全課の職員が多文化共生を意識して業務をすることを旨とし、今年度から多文化共生推進主任者を設置した。次に多文化共生推進

主任者の業務内容を説明させて頂く。1点目は、外国人住民を意識した業務の推進に努めることである。例えば、行政情報の発信においては、多言語化や「やさしい日本語」を活用していくこと、周知方法においては、外国人市民が使用している Facebook など SNS の活用をすること、そして窓口対応においては、各課において通訳配置の必要性を検討すること。2点目は、市役所職員の多文化共生に対する意識啓発である。外国人市民と接する機会が少ない課では、多文化共生に関する意識や理解が薄い職員も多いため、研修会などを開催し、意識を高めていく必要があると考えている。今年度は、一般財団法人自治体国際化協会が実施している地域国際化推進アドバイザーの派遣を活用し、多文化共生リソースセンター東海の代表理事土井佳彦氏を講師としてお招きし、多文化共生推進主任者向け研修会を開催した。その中で市内の外国人人口推移や国籍別の割合を参加職員に共有するとともに、市役所に来庁する外国人市民の相談件数や、多文化共生・国際課が依頼される翻訳件数が年々増加している状況を説明した。来年度も多文化共生推進主任者向け研修会を開催したいと考えている。そこで、本日「市役所での全庁的な多文化共生推進に向けて」意見交換し外国人目線で、市役所を利用した中で困ったことや助かったことなどを教えて頂き、委員の皆さまから頂いた意見を、来年度の多文化共生推進主任者向け研修会で職員に伝えていく。

事務局：まず、どのような目的で市役所を利用するか。

委員：転居で住民票を異動させる時や、税金や学校の手続き関係が多い。

委員：外国人市民が市役所を利用する際に、困ることはやはり言葉の壁だと思う。自分が抱えている悩

みを、どこの課に相談すればいいのかわからない。受付の人に聞いても、日本語が不慣れできちんと伝わ

らない。

事務局：この課に相談に行けばいいかわからない時は、多文化共生・国際課の外国人相談窓口や、

豊橋市外国人総合相談窓口infopia(インフォピア)を利用して頂ければと思うが、皆さんはどう感じるか。

委員：多文化共生・国際課を知らない外国人市民は多いと思う。場所が 11階にあるから分かりにくい

のかもしれない。1階市民課の隣など、外国人市民がよく来る場所にあれば周知が図れると思う。

事務局：確かに 11階は分かりにくいかもしれない。では、担当課の窓口で困ることはあるか。

委員：やはり言葉の壁が大きい。通訳が配置されていれば、安心して利用することができると思う。また、

子育てや学校など日本人にとっては当たり前のことでも、日本での経験がないと分からないことが多いため、

窓口対応の際に知識面のサポートをしてもらえると有り難い。

事務局：日本人市民には説明しないことでも、外国人市民にとっては初めての情報で、きめ細かな

説明が非常に大切であることを職員に意識づけていきたいと思う。

委員：外国人市民に向けた行政サービスが、どのようなものがあるのか知らない。

事務局：皆さんは普段どのような媒体で、情報を得ているか。

委員：Facebook などの SNS が多い。

委員：外国人市民の出身国ごとに、情報連絡チャネルを作るのはどうか。それぞれの国の代表市民を決

め、市役所はその人を通して情報を発信すれば外国人市民は母国語で情報を得ることができると思う。

委員：以前そのような役割をした経験があるが、非常に難しかった。代表者の負担が大きいと思う。

委員：20年前と比べて、市役所の窓口は外国人市民にとって非常に利用しやすい雰囲気になったと思

う。以前は市役所に来ると自分は外国人だと意識することが多かったが、今は窓口で優しく丁寧に
て下さるので嬉しい。

いいん：市役所から外国人市民に向けた情報提供の話に戻るが、回覧板を利用して多言語のチラシを
配布してほしい。また、外国人市民の世帯は回覧板が回されない場合があるから、きちんと回すように
周知してほしい。

じむきょく：外国人市民向けの情報提供に関して、多文化共生・国際課の Facebook は利用されてい
るか。

いいん：よく利用している。掲載された記事をフォローすることで、友人にも周知している。

じむきょく：子どもの教育や学校に関して、何か困ることはあるか。

いいん：豊橋に暮らしている外国人世帯は両親が共働きである場合が多いため、サポートを増やしてほし
い。延長保育の時間が母国と比べて短い点や、幼稚園・保育園の入園手続きや条件が複雑な点が、
来日したばかりの外国人市民にとっては難しい。

いいん：外国人児童に対するいじめの問題もある。いじめが起きないように、日本人児童に対して異文化
教育を進めてほしい。

じむきょく：来年度は小学生を対象に、豊橋市の「多文化共生」について理解を深めるためのリーフレット
を作成する予定。小学生のうちから、外国人市民が共に暮らしていることが当たり前の環境であることを
知してほしい。

いいん：とても良いと思う。また、子供たちが各国のことを楽しく勉強できる授業を増やしてほしい。

事務局：現在多文化共生・国際課では国際交流員が、自国の文化を紹介する出前講座を行っている。

委員：韓国では、外国人のために分かりやすい多言語のホームページがある。また、多文化共生を啓発するために、子どもに人気のキャラクターを使った動画や、有名な K-POP 歌手を起用した曲を政府が作成し、子どもたちに多文化共生の大切さを教えている。楽しく、身近に多文化共生を学ぶことに繋がっていると思う。

事務局：とても良い取り組みだと思う。キャラクターや歌は、子供にとって親しみやすい。

委員：外国人市民向けに日本文化を紹介するイベントを増やしてほしい。例えば正月の餅つきや、子どものお食い初め等。インターネットで情報収集するが、やはり自分で体験できた方が理解が深まる。将来子どもへも伝承できると思う。

事務局：来年度は「多文化子育てサロン」という事業をスタートさせる予定。これは、外国人親子と日本人親子を対象に、絵本の読み聞かせやベビーマッサージの教室等を開催するとともに、情報交換の場になることを目指している。通訳も配置する予定。

委員：そういう場ができるのは、とても良いと思う。

事務局：また、今年度多文化共生・国際課では、『ブラジル人向けメンタルヘルス相談事業』をスタートさせた。毎月相談件数が非常に多いのだが、ブラジル人市民の方以外でも皆さんの周りに心のケアを必要としている人はいるか。

委員：親や友達と離れて暮らしている分、子育てなどで孤独を感じている人が多いと思う。話を聞いても

らえる場所があると不安やストレスが軽減すると思う。

事務局：現在メンタルヘルス相談事業はポルトガル語を母語とするカウンセラーのみの配置だが、

タガログ語など他の言語を母語とするカウンセラーも必要だと思うか。

委員：必要だと思う。通訳をつけた日本人カウンセラーではなく、母語で伝わるカウンセラーの方がやはり

相談しやすい。鬱やパニック障害などになる前に、不安を和らげることができる場があるといいと思う。

事務局：本日皆さんから頂いた意見は、大変参考になった。来年度の取り組みに活かしていきたい。

以上で、本日の外国人市民会議を終了する。

以上